

【別紙3】

平成29年度「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動」報告

青森県立保健大学版 Linktopos を立ち上げと拡大を図るための活動
(全国 LIKNtopos での全国学生との交流・日々の活動の発表)

活動代表者 濱田菜那



I. はじめに

Linkplusは全国版のLinktopsに代表・副代表が参加したことをきっかけに、青森県でも同様の地域活動ができないかと考えたことに端を発します。現在は、全国版Linktopsに参加したことのある3サークル(A-knot, Smile, りんごの会)のメンバーで構成されています。将来的には、県内の他大学(私学も含む)にも呼びかけ、一緒に青森県のヘルスリテラシー向上に寄与するような地域活動ができればと考えています。

II. 目的

- ・団体を超えた繋がりにより、活動の安定化と多様な視点・アプローチの構築ができると考えている。
- ・サークルメンバーが互いに交流し、活動することによって、これまでになかった、できなかつた活動の広がりを作り出すことを目指している。
- ・本年度の活動においては、他大学・他地域の活動に関する情報収集と3サークルが協働することによる、今後の県内のヘルスリテラシー活動への新たなビジョンや学生活動の可能性を広げる。

III. 活動方法（または「活動の経過」等）

平成29年度全国公立大学学生大会（Linktopos全国大会（大阪開催））へ参加

<1日目>大阪府立少年自然の家

- ・入所式
- ・分科会～「私たちって、いつも何やってるんだっけ！？」～
- ・分科会全体共有

<2日目>大阪市立大学杉本キャンパス

- ・メニュー紹介
- A. 学びの時間～「私たちが、できることって何だろう！？」～
- B. 地域課題解決ワーク～「私たちが、できることって何だろう！？」～
地域解決課題ワーク（※途中ワールドカフェ）
- B. 地域課題解決ワーク～「私たちが、できることって何だろう！？」～
- ・発表（グループ代表選出→全体発表）

<3日目>大阪市立大学杉本キャンパス

- ・ダイアローグ①～「私たちは、どこへ歩いていくべきなんだろう！？」～
- ・ポスターセッション
- ・ランチ交流
- ・学長セッション
- ・ダイアローグ②～「私たちは、どこに歩いていくべきなんだろう！？」～
- ・クロージング



IV. 活動結果（または「成果」等）

- ・県外学生との交流強化
- ・東北 LINKtopos の開催（詳細は岩手県立大学 LINKtopos の活動報告書より）
- ・学内 LINKtopos の開催（詳細は学内 LINKtopos の活動報告書より）

V. 活動の総括

今年度は今後の活動のための情報収集が主な活動になったが、次年度以降は今年度の活動を参考に近隣住民や東北地域の学生を主として交流や地域貢献を行っていく。

VI. 謝辞

本活動において学内の先生方や職員の方々には多大なる御協力をいただきました。ここに感謝の意を申し上げます。

VII 活動構成員等

(チーム名： LINKpuls)

	氏名	所属	役割分担
活動代表者	濱田菜那	看護学科 3年	活動を統括する
経費執行責任者	杉山克己	社会福祉学科 教授	予算執行の監督と顧問
構成員	菅野萌	栄養学科 3年	代表者の補佐
構成員	常岡恵里奈	栄養学科 3年	
構成員	石井栞里	看護学科 3年	
構成員	菅原真美	栄養学科 2年	
構成員	山内唯	看護学科 3年	
構成員	福村郷	看護学科 3年	
構成員	渡邊咲良	看護学科 4年	
構成員	渡邊実咲	看護学科 2年	
構成員	會津花乃	看護学科 2年	

※欄が不足する場合には、適宜行を挿入ください。

VIII 活動経費（執行額）

(単位：円)

年度	活動経費	科目				
		報償費	旅費	需用費	役務費	備品購入費
平成 29 年度	184,830		182,140	2,690		
総計	184,830		182,140	2,690		

※活動経費執行内訳等の詳細は別紙「収支管理簿」のとおり。

【別紙3】

平成29年度「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動」報告書

青森県立保健大学版 Linktopos を立ち上げと拡大を図るための活動 (学内 LINKpuls の活動と学内生徒との交流)

活動代表者 濱田菜那



I. はじめに

Linkplusは全国版のLinktopsに代表・副代表が参加したことをきっかけに、青森県でも同様の地域活動ができないかと考えたことに端を発します。現在は、全国版Linktopsに参加したことのある3サークル(A-knot, Smile, りんごの会)のメンバーで構成されています。将来的には、県内の他大学(私学も含む)にも呼びかけ、一緒に青森県のヘルスリテラシー向上に寄与するような地域活動ができればと考えています。

II. 目的

- ・団体を超えた繋がりにより、活動の安定化と多様な視点・アプローチの構築ができると考えている。
- ・サークルメンバーが互いに交流し、活動することによって、これまでになかった、できなかった活動の広がりを作り出すことを目指している。
- ・本年度の活動においては、他大学・他地域の活動に関する情報収集と3サークルが協働することによる、今後の県内のヘルスリテラシー活動への新たなビジョンや学生活動の可能性を広げる。

III. 活動方法（または「活動の経過」等）

11月26日

①LINKtoposとは

②ワークショップ「すこぶるワクワクするような未来を考える」というテーマのもと実施



③終了後アンケート実施

IV. 活動結果 (または「成果」等)

- ・学内学生との交流強化
- ・LINKpuls の宣伝
- ・団体への勧誘

V. 活動の総括

今年度は今後の活動のための情報収集が主な活動になったが、次年度以降は今年度の活動を参考に近隣住民や東北地域の学生を主として交流や地域貢献を行っていく。

VI. 謝辞

本活動において学内の先生方や職員の方々には多大なる御協力をいただきました。ここに感謝の意を申し上げます。

VII 活動構成員等

(チーム名： LINKpuls)

	氏名	所属	役割分担
活動代表者	濱田菜那	看護学科 3年	活動を統括する
経費執行責任者	杉山克己	社会福祉学科 教授	予算執行の監督と顧問
構成員	菅野萌	栄養学科 3年	代表者の補佐
構成員	常岡恵里奈	栄養学科 3年	
構成員	石井栞里	看護学科 3年	
構成員	菅原真美	栄養学科 2年	
構成員	山内唯	看護学科 3年	
構成員	福村郷	看護学科 3年	
構成員	渡邊咲良	看護学科 4年	
構成員	渡邊実咲	看護学科 2年	
構成員	會津花乃	看護学科 2年	

※欄が不足する場合には、適宜行を挿入ください。

VIII 活動経費（執行額）

(単位：円)

年度	活動経費	科目				
		報償費	旅費	需用費	役務費	備品購入費
平成 29 年度	184,830		182,140	2,690		
総計	184,830		182,140	2,690		

※活動経費執行内訳等の詳細は別紙「収支管理簿」のとおり。

【別紙3】

平成29年度「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動」報告書

青森県立保健大学版 Linktopos を立ち上げと拡大を図るための活動 (東北 LINKtopos の活動と学外生徒との交流)

活動代表者 濱田菜那

印

I. はじめに

Linkplusは全国版のLinktopsに代表・副代表が参加したことをきっかけに、青森県でも同様の地域活動ができないかと考えたことに端を発します。現在は、全国版Linktopsに参加したことのある3サークル(A-knot, Smile, りんごの会)のメンバーで構成されています。将来的には、県内の他大学(私学も含む)にも呼びかけ、一緒に青森県のヘルスリテラシー向上に寄与するような地域活動ができればと考えています。

II. 目的

- ・団体を超えた繋がりにより、活動の安定化と多様な視点・アプローチの構築ができると考えている。
- ・サークルメンバーが互いに交流し、活動することによって、これまでになかった、できなかった活動の広がりを作り出すことを目指している。
- ・本年度の活動においては、他大学・他地域の活動に関する情報収集と3サークルが協働することによる、今後の県内のヘルスリテラシー活動への新たなビジョンや学生活動の可能性を広げる。

III. 活動方法（または「活動の経過」等）

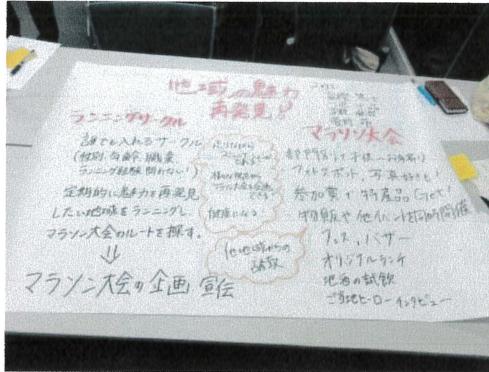
2018年3月28日 10:00～20:00

岩手県立大学アイーナキャンパス

スケジュール

- 10:00 参加者集合、アイスブレイク
10:30 各大学・団体・個人の活動紹介プレゼン
12:00 昼食
13:00 ワークショップ～東北の抱える地域課題～
17:30 懇親会
20:00 解散

5大学22名が参加した大会になった。各大学、各団体の紹介を行い、お互いに交流を深めた。若者の町おこしや復興支援ボランティアを行っている団体があった。ワークショップでは、東北地域全体の共通の課題である人口流出に焦点を当て、「まちのにぎわい喪失の対策、改善に向けて」というテーマで、5つのグループに分かれワークショップを行った。にぎわいの定義や改善策を自由に考え、アイディアを出し合った。活動や学習分野が異なるメンバーでのワークショップでは出てくるアイディアが多く刺激を受けた。3時間にわたるワークショップの後、各グループの考えを発表しあった。異世代交流につながるプランの計画や商店街の活性化プランの提案等、各グループの色が出る発表となった。



IV. 活動結果（または「成果」等）

他大学の異なる活動を行う学生、教職員の方とワークショップを開くことで、普段思いつかないような考えに触れることができ、得るもののが大きかったと思う。また、初対面の人が多かったが楽しくワークショップを進めることができた。今回の東北 LINKtopos では青森市内の今まで交流がなかった大学の学生ともつながることができ、今後の学内のLINKplusの活動に生かすことができると思う。

V. 活動の総括

今年度は今後の活動のための情報収集が主な活動になったが、次年度以降は今年度の活動を参考に近隣住民や東北地域の学生を主として交流や地域貢献を行っていく。

VI. 謝辞

本活動において学内の先生方や職員の方々には多大なる御協力をいただきました。ここに感謝の意を申し上げます。

VII 活動構成員等

(チーム名：LINKpuls)

	氏名	所属	役割分担
活動代表者	濱田菜那	看護学科 3年	活動を統括する
経費執行責任者	杉山克己	社会福祉学科 教授	予算執行の監督と顧問
構成員	菅野萌	栄養学科 3年	代表者の補佐
構成員	常岡恵里奈	栄養学科 3年	
構成員	石井栞里	看護学科 3年	
構成員	菅原真美	栄養学科 2年	
構成員	山内唯	看護学科 3年	
構成員	福村郷	看護学科 3年	
構成員	渡邊咲良	看護学科 4年	
構成員	渡邊実咲	看護学科 2年	
構成員	會津花乃	看護学科 2年	

※欄が不足する場合には、適宜行を挿入ください。

VIII 活動経費（執行額）

(単位：円)

年度	活動経費	科目				
		報償費	旅費	需用費	役務費	備品購入費
平成 29 年度	184,830		182,140	2,690		
総計	184,830		182,140	2,690		

※活動経費執行内訳等の詳細は別紙「収支管理簿」のとおり。

